

環境対策連絡会 コープネットエコセンター見学報告

日時：2010年6月4日（金） 15:00～16:00

参加：10名（コープとうきょう、コープネット事業連合、パルシステム事業連合・（株）エコサポート、東都生協、大学生協東京事業連合、生活クラブ連合会、東京都生協連）

場所：千葉県野田市泉

2009年度第6回環境対策連絡会で、コープとうきょうから4月に新設されたエコセンターの報告があり、環境対策連絡会で見学したいとの意見が出されたため、環境対策連絡会で見学を行ないました。



はじめに、エコセンターの概要等についての説明があり、その後見学を行ないました。



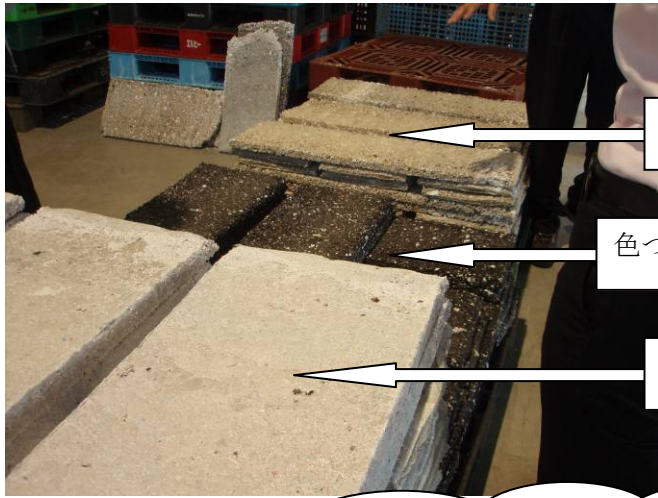
2010年4月21日にオープンしたコープネットエコセンターには、コープネット会員生協の組合員理事をはじめ、全国の生協から見学がされています。

当日も日本生協連、CXカーゴ、みやぎ生協と一緒に見学を行ないました。



○1都7県コープネット会員生協の全店舗と一部生鮮センターなどから排出されるリサイクル資源有価物を、1箇所に集め減容処理して販売します。

特徴：店舗への納品車両の戻り便（静脈物流）で資源有価物を回収してこるとなり、コストの削減が図られました。



トレー

色つきトレー

魚箱

おへそがあるのがペットです



エコセンター稼働体制：27名
社会福祉法人は一とふるに登録された障がい者の方たち(8名)が元気に働いています。主にペットボトルやアルミ缶の減容処理を行なっています。



減容処理されたペットボトル。
「けっこう重いつす」

—回収品—
ペットボトル・段ボール・牛乳パック・古紙・発泡スチロール魚箱・食品トレー・卵パック・アルミ缶



事業から出る資源物のほとんどが段ボール

減容処理された段ボール。



アルミ缶と鉄缶は磁石により分別。
飲み残しが混ざっているため汚れます。



回収した中には、いろんなものが混ざっています。それを仕分けするのも大変です。
ペットボトルはふたがついたままでは、十分な圧縮ができないため、取り除いています。